

経済学委員会分科会の設置について

分科会等名：経済学委員会 現代経済政策史資料適正保存促進分科会

1	所属委員会名	経済学委員会
2	委員の構成	12名以内の会員および連携会員
3	設置目的	<p>(設置の目的)</p> <p>本分科会は、日本の現代経済政策史資料ならびにデータベースの適切な保存と公開の方法を解明し、現実的な改善策をまとめることを目的とする。</p> <p>(設置目的の背景)</p> <p>(1) 行政府が蒐集・生産・加工する膨大な資料とデータは、政策評価完了後、二次的利用のため体系的に管理されず、法定保存期間後は破棄されてしまう場合が多い。</p> <p>(2) 近年のITの普及に伴い、電子媒体による資料の体系的管理体制について、早急な検討が必要である。</p> <p>(3) 2001年施行の情報公開法(「行政機関の保存する情報の公開に関する法律」)にもとづき、行政府が保管する諸資料は、閲覧要請に応じ原則として公開される。ところが、公開条件の判定作業(国家機密と個人情報の点検)には多大な時間と労力を必要とするため、未整理のまま保存期限後は破棄されるものがある。</p> <p>(4) 政策決定にかかわる関係者の個人情報(意見開陳等)には、歴史資料として公開に付することが適当なものがある。開示条件の再検討が必要である。</p> <p>(5) 欧米・韓国などと比べて、日本の資料・史料保存状況は大きく立ち後れている。この状態の放置は国益に反する。</p>
4	審議事項	<p>1. 経済政策史資料・データベース保存の国内外現状調査</p> <p>2. 経済政策史資料・データベース保存・公開の理想像の検討</p> <p>3. 経済政策史資料・データベース保存・公開の現実的改善策の作成と公開</p>
5	設置期間	<p>期限設置 年 月 日～ 年 月 日</p> <p>常設</p>
6	備考	